

# 家の断熱性、省エネ性、耐震性を向上するのは 全て基礎次第

■基礎断熱

タイト・モールド工法



## 🏠こだわり1 高断熱

### ・コンクリートを断熱材でサンド！

タイト・モールド工法はコンクリートの型枠の役割も担っているため、コンクリートの両側を断熱材で挟みます。コンクリートの外側にも内側にも断熱材が配置されるので高い断熱性能を誇ります。

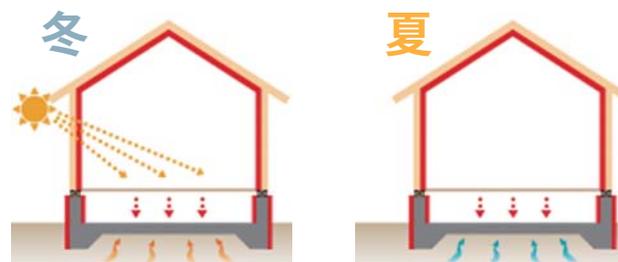


タイト・モールド工法では、断熱材がコンクリートの型枠の役割もになっています。

### ・太陽光・地熱を利用

地熱エネルギーは建物の下2-3mほどの深さのところでは年間ほぼ13-15℃と一定に保たれています。地熱エネルギーは床下のコンクリートを通じて蓄えられ、夏は涼しく冬は暖かい快適な居室空間に利用されます。

冬の太陽は夏よりも低く、家の中まで日差しが入ってきます。床に伝わった太陽熱エネルギーは床下のコンクリートに蓄熱され夜間に「放熱」されることで床下から家の中が暖められます。



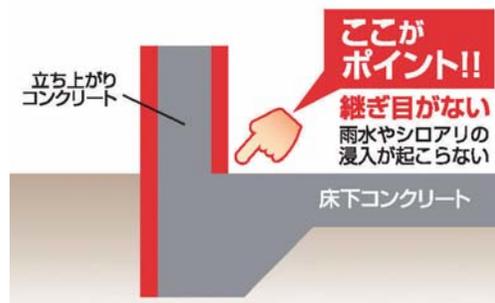
コンクリートの蓄熱(蓄冷)性により居室空間の温度を保ちます。

## 🏠こだわり2 高強度

### ・コンクリート1回打ち、継ぎ目の無い施工で ひび割れや浸水を防ぐ、一体型基礎

床下と立ち上がり部分のコンクリートに継ぎ目がなく、強いコンクリートになり、雨水やシロアリの侵入も防ぎます。

基礎と土台をつなぐ重要な金物を正確な位置に施工することができ、地震や台風時に強度を発揮します。



### ・シロアリ対策も万全！ 2重の防蟻処理

型枠断熱材に人体に無害なホウ酸を練り込み、また、アルミ製の笠木をかぶせることにより白アリの侵入をシャットアウトします。

